

東京湾の干潟・浅場の減少

明治期には富津から湾奥、そして横浜まで、干潟が連続してひろがっていました。

これまでに湾面積(13.8万ha)の2割にあたる2.6万haが埋め立てられ、干潟面積は1950年代以降、8,000ha(湾面積の6%)が失われ、8分の1に減少しています。

